

いわた

目次

# 文化財だより 第172号

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和元年7月1日発行

- ～いわたには伝えたいものがある～  
磐田百年物語 . . . . . P1～2
- 今年の夏を楽しもう! . . . . . P3
- 祝 旧見付学校入館者50万人達成! . . . . . P4
- コラム『えっ!見付本通り?』匂坂滋 . . . . . P4



## 今年の夏は文化財課の企画展へ

今年の夏も文化財課が総力をあげ、磐田市立中央図書館展示室で企画展を開催します。文化財の宝庫・磐田を知るためのいい機会です。是非、企画展に足を運んで下さい。

大正8年(1919)に文化財を保存・保護するための史蹟名勝天然記念物保存法が成立しました。磐田市には遠江国分寺跡(見付・中泉)など未来に伝えなければならない古墳・遺跡・文化財が多くあります。今回の企画展では、磐田が文化財と向き合った百年を振り返ります。

**遠江国分寺跡** 史蹟名勝天然記念物保存法に基づき大正12年(1923)に国の史蹟に指定されました。戦後、文化財保護法に改正されると昭和27年に国の特別史蹟に改めて指定され、昭和45年に整備され、市民の憩いの場として永く親しまれてきましたが、設備の劣化などから、再整備が計画されています。



現在の遠江国分寺

## はじめての発掘調査

遺跡や古墳は発掘調査によってはその価値を知ることになります。磐田市内で初めての発掘調査は、大正 11 年（1922）におこなわれた京見塚古墳（国府台）の発掘調査です。昭和 56 年に再調査がおこなわれ、史跡公園として整備されました。



京見塚古墳の様子

## 整備で快適

大正 12 年（1923）に史跡に指定された遠江国分寺跡は、昭和 42～45 年度に、国分寺跡の中で全国でさきがけとなる整備がおこなわれました。その整備から約 50 年、新しい時代のニーズに応えるため、再整備がおこなわれます。また、見付宿の東にある阿多古山一里塚（市指定史跡）は保全を主な目的として平成 30 年度に整備されました。



再整備後の遠江国分寺（イメージ図）

## あります あります・・・市内の史跡

磐田市内には遠江国分寺跡のほかにも史跡に指定されている遺跡・古墳が多くあります。磐田市の北部にある岩室廃寺（敷地）もその一つです。岩室廃寺は平安時代末から鎌倉時代に繁栄した寺院の跡で、史跡内には建物の礎石が点在し、敷地内にある観音堂には興隆を極めていた頃の仏像も伝えられています。



岩室 観音堂

## お披露目します

### ～明ヶ島古墳群出土土製品～

古墳・遺跡から見つかった遺物も磐田の歴史を考える上で重要です。明ヶ島古墳群から出土した土製品は国の重要文化財に指定されています。未来に伝えるため保存処理の作業を順次おこなっています。このたび、その一部が保存修理を終え里帰りをしたので展示をおこないます。



保存処理が終わった土製品

## 参加者募集

企画展記念講演会

『古代遠江と都城のつながり』

講師 奈良女子大学名誉教授・近つ飛鳥博物館館長

たての かすみ 舘野和己先生

日時 8月18日（日） 14:00～16:00（予定）

会場 磐田市立中央図書館 2階 視聴覚ホール

定員 申込み先着 130名 参加費 無料

申込み 電話で文化財課まで 7月22日（月）より受付開始

文化財課 TEL0538-32-9699（平日8時30分～17時／土・日・祝日休み）©磐田市

2/4 いわた文化財だより 第172号

ふるって御参加  
ください



# 今年の夏を楽しもう！

7月～8月の夏場にも文化財・歴史に関するイベントが多くあります。足を運んでみてはいかがでしょうか。



## 見付天神裸祭 国指定重要無形民俗文化財指定 20周年 記念講演会

見付天神裸祭が国の重要無形民俗文化財に指定されて20年を迎えました。これを記念し講演会を開催します。

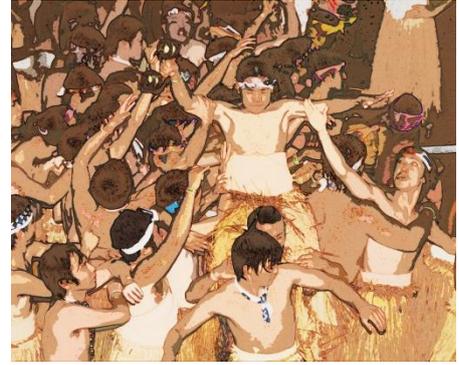
日時 8月4日（日） 13時開場 13時30分開演

場所 ワークピア磐田（磐田市見付 2989-3）

内容 野本寛一先生（近畿大学名誉教授）の講演／谷部真吾先生（山口大学准教授）のコーディネートによる中学生のトークイベント／子供たちによるお囃子とっしゅぺいダンス

参加費等 無料 先着100名（申込不要）

※予定人数に達した時には入場できない場合もあります。



## 磐田市指定無形民俗文化財 池田やかた祭り

麦ワラを束ねた土台にホウズキ提灯で飾り付けた「やかた」に火をつけ天竜川に流す行事。疫病退散を祈願して始められたと言われています。提灯は、奉納されたもので、地区に人たちの願いが記されています。

日時 8月4日（日） 18時頃

場所 池田地区・天竜川河原（池田の渡し公園）



## 磐田市指定無形民俗文化財 豊岡の遠州大念仏・加茂大念仏

8月13日～15日のお盆に初盆供養のため、遠州大念仏がおこなわれます。磐田市内には豊岡地区の<sup>おいだいら</sup>大平、<sup>だいらくじ</sup>大楽地、<sup>かみかんぞ</sup>上神増、<sup>ごうだいじま</sup>合代島、<sup>いっかんじ</sup>壺貫地、<sup>みつえ</sup>三家、<sup>まつのきじま</sup>松之木嶋と豊田地区の加茂東に伝わっています。初盆の家以外でも地区の寺院などで大念仏を見ることができます。

### 初盆供養以外で見られる主な大念仏行事

月日	時間	組	行事名	場所
8月7日	20時頃	大楽地	寺供養	一雲斎（下野部）
8月9日	20時頃	加茂	寺供養	大円寺（加茂）
8月10日	19時頃	加茂	墓地蔵供養	地藏堂（加茂）
8月11日	18時頃	上神増	先祖供養	慈眼寺（上神増）
8月13日	15時頃	合代島	先祖供養	寺跡（合代島上）
	16時頃	壺貫地	戦没者供養	永照塔（壺貫地）
	16時頃	三家	先祖供養	松久院（三家）
	16時頃	松之木嶋	先祖供養	最廣寺（松之木嶋）
8月15日	18時頃	上神増	上念仏	慈眼寺（上神増）
	20時頃	松之木嶋	上念仏ほか	最廣寺（松之木嶋）



※時間は当日の天候や移動状況などにより前後する可能性があります

8月14日、豊岡東交流センター（磐田市家田）で豊岡地区の大念仏組が参加する『蝉しぐれの盆』がおこなわれます。浜松の念仏組のほか子供念仏も出演します。詳細は主催者（豊岡東交流センター）にお問合せください。

8月14日（水）17時頃～ 蝉しぐれの盆 豊岡東交流センター（電話 0539-62-6669）

# 祝

## 旧見付学校 入館者 50 万人達成！

国の史跡である旧見付学校が、6月15日に平成4年の開館以来、入館者50万人を達成し、記念式典をおこないました。

記念式典では、50万人目の入館者である浜松市の荒井さんご一家、教育長、しっぺいでくす玉を割った後、教育長から記念品、文化財課長から花束を贈呈しました。荒井さんは「歴史ある建物を保存していくのは大変かと思いますが、これからも残していってほしいです。」とのコメントをいただきました。

今後とも文化財の保護、普及啓発を職員一丸となって取り組んでいきます。

【問合せ】旧見付学校 **入館無料**

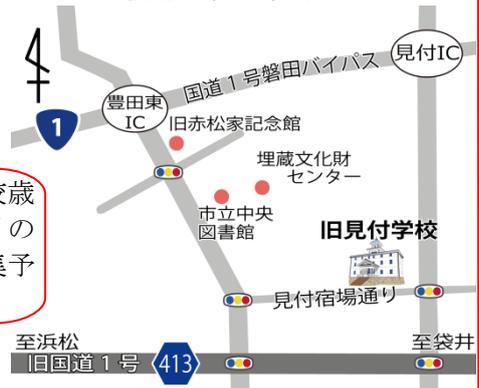
開館時間:午前9時～午後4時30分

休館日:月曜日・祝日の翌日・12/29～1/3

磐田市見付 2452 TEL/FAX:0538-32-4511



記念式典の様子



企画展「旧見付学校歳時記」開催中！来月の文化財日よりで特集予定です。

### 職員リレーコラム

### えっ！見付本通り？

匂坂 滋

昨年の4月から国の指定文化財であり、教育や歴史の資料館でもある旧見付学校に勤めています。勤務して2か月が過ぎた頃、地元の小学校3年生が校外学習に来ました。旧見付学校だけでなく、見付の歴史についても触れようと「旧見付学校の前の通り（道）は、何という道か知っていますか？」と問いかけたところ、子供たちは自信に満ちた声で「見付本通り」と答えました。「旧東海道」という答えを予想していたのですが…。



立て看板『東海道』

そこで、旧見付学校の前の通りの名称を調べてみました。「旧東海道」の名称は、民家の壁面に2か所（立て看板）と「東海道・見付宿」の看板数か所に記載がありました。「見付本通り」の名称は、歩道に埋め込まれている案内表示と旧見付学校の南側の公園に大きな看板がありました。また、道路標識に目を向けると「見付宿場通り」と記載されている標識が数か所あるではありませんか。



公園の看板『見付本通り』



道路標識『見付宿場通り』

通りを歩いただけで3つの名前を見つけましたが、子供たちが答えたように、「見付本通り」が地元では定着しているのだろうと感じました。歴史ある道についてさらに興味を持つきっかけになりました。

編 夏といえば、青い空、入道雲、かき氷、  
集 甲子園……文化財課夏の企画展！今年  
後 も7月27日からはじまります。ぜひ、  
記 ご来場ください。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部  
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 **磐田市 文化財だより** **検索**

